

## 広島地震対策について考える

広島県にお住まいの方、地震対策・災害報道・防災などにご興味のある方対象

# あなたは 南海トラフの前と後に どうするべきか？

Before

After

参加費  
無料

定員  
200名  
対面・オンライン  
各100名

来場者にはノベルティ進呈

平成30年西日本豪雨災害以降、豪雨や土砂災害に対しては危機意識は高まっていますが、巨大地震が発生した場合、広島市の地理的条件による潜在的リスクが高いにもかかわらず、対策や意識が不十分です。このような中で、BeforeとAfterの視点から、また工学的、社会学的視点から、対策や意識向上のための公開講座を開催します。

【日時】  
2023 **1.20** **金** 13:30  
16:00

対面・オンライン同時開催 **事前申込要**

対面/県立広島大学 広島キャンパス 大講義室 オンライン/Zoom開催

### 1. 講演 | 13:30-14:15

**Before** 工学的視点

#### 広島市の液状化災害を 考える ～危険性と備え～

関東学院大学理事長・教授 規矩 大義



太田川デルタに位置し、市街地の多くが埋立地である広島市は、決して液状化災害と無縁ではない。芸予地震では基大な液状化被害は見られなかったものの、それは決して広島が液状化に強い街であることを意味しているわけではない。今後、起こりうる大規模地震で発生が懸念される液状化と、それに伴う地盤変状、家屋の倒壊や沈下、管路の浮き上がりといった被害に対して、行政・地域・個人で取り組むべき対策について考える。

規矩 大義 きくひろよし

1963年10月、兵庫県出身。九州工業大学大学院修了後、横浜国立大学助手を経て、佐藤工業(株)中央技術研究所に。在職中、JICA、国総研(国交省)に出身し、一貫して地盤防災に関する研究活動を行う。2002年4月関東学院大学に着任、工学部長を経て、2013年12月学長、2021年4月に学校法人関東学院理事長。東京都防災会議地震部会専門委員、神奈川公安委員会公安等を務める。専門は地盤防災工学(地盤の液状化問題)。

### 2. 講演 | 14:15-15:00

**After** 社会学的視点

#### 災害発生時における 地方テレビ局の使命

株式会社テレビ新広島 代表取締役社長 箕輪 幸人



災害報道の目的は、住民の命を守ることにある。だから、住民に情報を伝達したからといって、それで終わりではない。情報を得た住民が、その危機を避けるための対応行動をとることで、ようやく1つの役割を果たしたことになる。だが、その役割を十分に果たしているとは言い切れない。情報伝達と避難との関連が強固ではないからだ。どうしたら災害から人の命を守ることができるのか。地方テレビ局の視点で考えたい。

箕輪 幸人 むのわゆきと

1957年6月、茨城県出身。早稲田大学卒業後、フジテレビジョン入社。報道局社会部で日航ジャンボ機墜落事故、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件など一連のオウム真理教事件などを取材。司法・警視庁両キャブ、社会部長、解説委員などを経て2010年報道局長。2011年東日本大震災の取材・放送の指揮をとる。2014年同社常務取締役報道局長兼解説委員長からテレビ新広島代表取締役社長へ、現在に至る。

### 3. 映像 | 15:00-15:05

芸予地震を振り返る映像(TSS提供)

### 4. パネルディスカッション | 15:05-15:55

#### 広島は芸予地震級の地震に対策はできているか？

ファシリテーター 県立広島大学大学院経営管理研究科 講師 武居 靖昌

パネリスト 規矩 大義、箕輪 幸人、江戸 克栄(県立広島大学大学院経営管理研究科 専攻長/教授)、瀬尾 菜月(県立広島大学4年生)

お申し込みは  
こちらから



【申込締切】 2023年1月19日(木) 13:00 【申込方法】 QRコードを読み取り、ホームページにアクセスの上、申込フォームよりお申し込みください。

【共催】 県立広島大学 防災社会システムデザインプロジェクト研究センター **KGU** 関東学院大学 防災・減災・復興学研究所 **TSS** テレビ新広島

【協賛】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、中電技術コンサルタント株式会社 【後援】 広島市、中国新聞社 【協力】 株式会社マエダハウジング

